

『現代中国』投稿規定・原稿執筆要領

現代中国学会編集委員会

◆投稿規定

日本現代中国学会は、研究年報『現代中国』を毎年1回発行します。『現代中国』は会員各位からの自由な投稿原稿を受け付け、編集委員会による審査を経て、論文または研究ノートとして掲載します。

1. 投稿の要件

- 投稿できるのは、現代中国学会の会員および編集委員会・書評委員会が依頼した者として。共著論文の場合、ファースト・オーサーが会員であれば投稿できます。その際、執筆分担箇所が明記できる場合は、原稿の最後に付記してください。
- 原稿は未発表のもので、かつ日本語によるものとします。
 - 他言語で発表した文章を日本語訳したものは認めません。
 - 口頭で発表しそれを初めて文章化したものは未発表とみなします。
 - 学位論文のコピーを国立国会図書館その他の図書館に寄贈し閲覧に供した場合、または、学位を授与した研究・教育機関の定めるところによりデジタル化してコンピュータを用いて閲覧が可能な状態とした場合、もしくは、学位を授与した研究・教育機関の定めるところによりデジタル化してオンデマンド出版が可能な状態とした場合には、他の出版物において公表されている場合を除き、当該学位論文の全部または一部をそのままないし一部修正で投稿したのも未発表論文とみなします。
 - 文章表現の不完全な原稿は審査の対象になりませんので、ご注意ください。
- 投稿する原稿の字数は、全体で1万2,000字～2万字とします。
 - 制限字数には、図表、注、参考文献、余白なども含まれます。本文のみの総文字数ではありません。
 - 図表については、図表の周囲の余白部分も含めて、A4版で1頁大=1,200字、1/2頁大=600字、1/4頁大=300字相当と換算します。

2. 提出の要領

- 提出の締め切り日は、毎年1月31日とします。
- 提出に必要な書類は、以下のとおりです。
 - 1 原稿：本文、注、参考文献リスト：MS-WORD ファイル
 - 2 要旨：800字程度：MS-WORD ファイル

3 投稿フォーム（学会所定の様式）：Excel ファイル

学会ホームページから「投稿フォーム」ファイルをダウンロードして、氏名、所属、メールアドレスなど必要事項を記入してください。

4 図表：Excel ファイル

原稿に図表がない場合は不要

5 上記1、2、4 のPDF ファイル：

・文字化けや図表レイアウトの確認作業に使用しますので、元のMS-WORD・Excel ファイルと同一内容のものをPDFにしてください。

・上記3の投稿フォームはPDF化する必要はありません。

- 上記の書類はすべて、電子メールにファイル添付して下記の提出先まで送信してください。

➤ 提出先：『現代中国』編集委員会 電子メールアドレス：genchujour@yahoo.co.jp

➤ 電子メールにはタイトルに【『現代中国』投稿原稿】と明記してください。

- 編集委員会は提出された電子メールを受信したのち、受領確認メールを投稿者に返信します。送信後に1週間が経過しても編集委員会から受領確認の連絡がない場合は、上記の編集委員会までメールにてお問い合わせください。

また問い合わせメールを送信してから1週間たってもまだ返信がない場合は、本学会ホームページ上に記載の日本現代中国学会事務局の連絡先まで、メールまたはお電話でご一報ください。

➤ 編集委員会のメールアドレスは、毎年7月から11月までは使用できません。この間に編集委員会に連絡をお取りになる方は、一般社団法人中国研究所内日本現代中国学会事務局「現代中国」編集事務取扱 furuya.ggc@gmail.com をお願いします。その際にはメールの表題に編集委員長へ転送希望とお書きください。

➤ qq.com や 163.com など、中国のフリーメールは迷惑メールに振り分けられる恐れがあるため、極力使用をお控えください。

3. 査読の要領

- 投稿原稿は、編集委員会が複数の査読者に査読を依頼し、査読者の意見にもとづいて掲載の可否を決定します。
- 査読者は、原則として日本現代中国学会会員の中から選任します。ただし、本学会員のなかに適任者がいない場合は、編集委員会で協議のうえ非会員に査読を委嘱することもあります。
- 投稿者の氏名は編集委員会委員のみが知るものとし、委員任期終了後も含め、委員会の外部に氏名を明かさないようにします。査読者にも投稿者の氏名は明かしません。
- 査読者の意見と編集委員会での審議に基づき「論文」または「研究ノート」として掲載します。また審査の結果、掲載に適さないと判定される場合もあります。
- 査読者は、A、B、C、Dの4段階で原稿を評価するとともに、審査結果と所見を査読用紙に記載して編集委員会に返送します。記号の意味は以下の通り。
 - A：(論文として掲載可。再査読不要の微細な修正意見を含む)
 - B：(修正後、論文として掲載可。要再査読)
 - C：(研究ノートとして掲載可。再査読不要)

➤ D：(研究ノートとして掲載可。要再査読)

➤ E：(掲載不可)

- 編集委員会は、4月中のできるだけ早い時期をめぐりに審査結果を投稿者にお知らせします。

4. 著作権の扱い

- 著作権は投稿者にありますが、原稿が採用され、掲載された場合、その版面についての権利は学会に所属します。そのため、本誌の市販に否定的な影響がでないようにするため、論文の掲載された『現代中国』の発刊日から1年間は転載されないようにお願いします。ただし、その「1年間」とは実際の発刊が予定日より早い場合にはその日から1年、また、次号の発刊が1年後より前のときは次号発刊のときまでとします。
- なお、これらの場合も自著（単著）に収める場合、及び、所属先のリポジトリに登録する場合には、上記の例外としますが、その場合も事前に編集委員会に連絡をお願いします。また、後者のリポジトリ登録の場合も、その公開はやはり上記同様に1年間は避けていただくようお願いいたします。
- また、学会では広く研究成果を社会に還元するため、掲載の諾否を著者・訳者に確認することなく、原則として採用された全ての論文などをインターネット上で無償で公開いたします。

5. 改訂手続き

- 投稿規定および原稿執筆要領の改訂は、編集委員会が原案を作成し理事会の承認を得るものとします。

付則

1. 2022年10月31日 投稿の要件、提出の要領、査読の要領の規定につき一部変更、施行。
2. 2019年10月19日 著作権の規定につき一部変更、施行。